


126
2023年(令和5年)
7/21 発行
あなたと議会のかけ橋に

荅北町議会だより

きずな



主な内容

- 臨時会 2～3
- 定例会 4～5
- 全員協議会・全体会 6
- 一般質問ほか 7～11

第23回熊日旗天草郡市小学生
ソフトボール荅北大会
クラブれいほく対 有明SC

発行 荅北町議会 TEL35-3337
編集 議会広報特別委員会

こんなことが決まりました!!

令和5年 第3回議会臨時会 開催日：5月9日

■令和4、5年度 各会計補正予算について（専決処分）

（単位：千円）

議案番号等	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
承認第3号	令和4年度一般会計補正予算(第9号)	5,636,422	△28,471	5,607,951	事業費等の確定による減	◎
承認第4号	令和4年度水道特別会計補正予算(第6号)	239,777	△1,849	237,928	水道事業費の確定による減	◎
承認第5号	令和4年度下水道特別会計補正予算(第5号)	402,653	△11,268	391,385	下水道事業費の確定による減	◎
承認第6号	令和4年度農業集落排水特別会計補正予算(第4号)	21,571	△782	20,789	一般管理費等の実績による減	◎
承認第7号	令和4年度特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算(第2号)	44,530	△964	43,566	事業実績による減	◎
承認第8号	令和5年度一般会計補正予算(第1号)	4,793,000	21,891	4,814,891	新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用の増	◎

【結果の表示について】 ◎全会一致で可決

■令和5年度 補正予算について

（単位：千円）

議案番号	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果
議案第41号	令和5年度一般会計補正予算(第2号)	4,814,891	166,971	4,981,862	統合型GISの構築と公開による町民サービス向上事業等の増	○

【結果の表示について】 ○賛成多数で可決（賛否表はP3のとおり）

発議第6号 議案第41号令和5年度苓北町一般会計補正予算(第2号)に対する修正動議提出理由

この度提案されている「議案第41号 令和5年度 苓北町一般会計補正予算(第2号)」の、歳出款2総務費、項1総務管理費の内、目14の情報化推進費、節12委託料の中で、統合型及び公開型GIS構築業務委託料114,300千円を全額削除する修正案を提出します。

本事業内容を検証すれば、すでに町は、航空写真、地形図これらを所有し、行政事務の執行に活用されています。さらに、町は、防災マップ類も作成されており、空き家、消防施設、防犯灯等の行政情報も所有しておられるはずです。いまさら、1億円を超える巨額な税金を投入し、これらの資料をデジタル化し、統合する必要があるのでしょうか。

仮に、これらの資料が不足しているのであれば、広くない苓北町ですので、苓北町役場としての通常業務として取り組むべきです。これにかかる税金は、子どもや高齢者対応に充当すべきと考えます。

令和5年5月9日

発議者 苓北町議会議員 浜口雅英

議案第41号における原案の質疑終了後に、議員発議（発議者：浜口雅英議員）により、上記の修正動議が提出されましたが、趣旨説明、質疑、討論を経て、賛成少数により否決されました。

議案第41号 令和5年度苓北町一般会計補正予算(第2号)に対する討論

原案に賛成討論

田嶋議員

デジタル化が進む中、苓北町だけ取り残されることがあってはならない。このデジタル地図作成は、将来的に苓北町の財産となると考える。「苓北よかナビ」と連携させ、幅広い福祉サービス提供の可能性が広がることにつながる。

高戸議員

本事業は、今の時代が求めた新しい手法による推進のあり方と考える。事業の推進にあたっては、丁寧な説明をするべく努力に努めるよう要望し賛成する。

廣田議員

有利な財源を捉え、町民の利便性向上のための行政事務のデジタル化は推進すべきと考える。

田崎議員

本事業は、これからの町、町民にとって必要であること、国の補助事業で、町の持ち出しはないということ、原案に賛成である。

倉田議員

デジタル田園都市国家構想交付金決定に伴い、情報化推進事業ではオンライン申請や窓口に出向くことができないう方へのサービスも。

また、統合型GIS（地理情報）と公開型GISは、航空写真・地形図・道路台帳など共通基盤のもと、インターネット上で町内外に示し、役場に行かずとも確認や印刷精度が更に向上し、災害発生時等に迅速な対応が可能。校務支援では、教職員の事務効率化で児童生徒との時間増を図る。

修正案に賛成討論

浜口議員

原案に反対し、修正案に賛成。本案を必要とするのなら、本事業の必要性を感じているのなら現行のどういふ点が行政執行上不十分なのか検証し、1億円を超える巨額の委託料による資料収集でなく、行政自らが業務体制、職員構成等々を吟味し業務の執行に取り組みべき。この委託料1億1,430万円、内持ち出し分5,715万円は町の課題である人口減少、少子化、高齢化、生活環境の保全、教育対策や諸々の産業振興等へ対応すべき。

■条例改正等について

議案番号等	事 件 名	備 考	結果
承認第1号	苓北町税条例の一部を改正する条例（専決処分）	地方税法等の改正に伴う条例の一部改正	◎
承認第2号	苓北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例（専決処分）	地方税法等の改正に伴う条例の一部改正 ・国保税課税限度額 102万円から104万円とする ・減額の対象となる所得基準の見直し	◎
報告第2号	専決処分の報告について 専決第9号 損害賠償額の決定および和解について	町会計年度任用職員による町有地内における草刈り機による除草作業により、駐車中の軽自動車に無数の傷をつけたもの。（飛び石） 損害賠償額126,137円	-

【結果の表示について】 ◎全会一致で可決 - 報告につき採決なし

賛否表（ ○ 賛成 ・ ● 反対 議長（野崎）は採決に加わらない）

議案番号	事 件 名	結果	表採決										
			賛成：反対	田嶋	山口	廣田	松本	浜口	田崎	倉田	錦戸	高戸	野崎
議案第41号	令和5年度一般会計補正予算(第2号)	○	8:1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	-
	令和5年度一般会計補正予算(第2号)に対する修正動議	×	1:8	●	●	●	●	○	●	●	●	●	-



メタバース体験の様子

題等にメタバースを用いた事業企画の説明と実際テレビ等による実演体験を観た。
 今後は各種団体等との連携を図り、子どもたちと機器を通して出会い、併せて、機器を乗り越え自然の中で触れ合いの交流を深め、企画にある世界初の富岡城での「第1回メタバース・アイデアアワード（仮称）」開催は、町の知名度を上げるだけでなく、その取り組みに価値がある。

高戸議員
 本事業については、ターゲットの選定、それに伴う参加者数からして、目標達成には、大変な力が必要と思う。AI等を活用した事業の推進を見守る立場で賛成する。

■報告（令和4年度繰越明許費繰越計算書）

（単位：円）

会計名	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				
				既収入 特定財源	未収入特定財源			一般財源
					国県支出金	地方債	その他	
一般会計	地域振興事業 (第3弾)他4事業	138,337,000	138,337,000		42,141,000	56,400,000	39,796,000	
水道特別会計	簡易水道 基幹改良事業	24,413,000	24,413,000			24,400,000	13,000	
下水道特別会計	下水道施設 更新事業	61,000,000	61,000,000		25,300,000	34,900,000	800,000	

■陳情等文書の取扱結果

受理年月日等	件名	提出者	結果
R5.5.15 令和5年 陳情第1号	全国霊感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情	基本的人権・信教の自由を守る熊本県民の会 天草郡苓北町都呂々 金子正英	議員配布
R5.5.16 令和5年 陳情第2号	国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書	インボイス制度を考えるフリーランスの会 東京都北区赤羽3-3-3ドミール赤羽707 阿部 伸	趣旨採択

■苓北町固定資産評価員の選任について

氏名	住所	結果
龍岡 学	苓北町富岡	選任に同意

賛否表（○ 賛成 ・ ● 反対 議長（野崎）は採決に加わらない）

議案番号等	事件名	結果	表採決											
			賛成	反対	田嶋	山口	廣田	松本	浜口	田崎	倉田	錦戸	高戸	野崎
発議第8号	苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	×	3	6	●	●	●	○	○	○	●	●	●	-
議案第47号	令和5年度一般会計補正予算（第3号）	○	8	1	○	○	○	●	○	○	○	○	-	

令和5年 第4回議会定例会 開催日：6月7日～9日

■条例改正等について

議案番号等	事件名	備考	結果
発議第7号	苓北町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	地方自治法の一部が改正され、議員個人による当該地方自治体に対する請負が、各会計年度においてその請負の対価の総額が300万円を超えない者を規制の対象から除外することとされた。苓北町議会として、法改正及び総務大臣通知を踏まえ、当該請負の状況の公表に関する条例を制定するもの 提出者：浜口雅英議員	○
発議第8号	苓北町議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	コロナ禍、物価高騰等を考慮し、令和5年度に限り、苓北町議会議員の期末手当を削減するもの 提出者：浜口雅英議員	×
(議長発議)	議会活性化等検討特別委員会の設置及び委員の選任について	より開かれた議会とするため、議会に左記特別委員会を設置、委員を選任（議長を除く9人で構成） 委員長：高戸幸雄議員 副委員長：錦戸俊春議員	○
議案第42号	苓北町監査委員条例の一部を改正する条例について	根拠法令の条ズレによる一部改正	○
議案第43号	苓北町税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の改正に伴う条例の一部改正 ※森林環境税の令和6年度からの創設等	○
議案第44号	苓北町税特別措置条例の一部を改正する条例	根拠法令の適用が2年間延長されたことに伴う一部改正	○
議案第45号	苓北町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	熊本県の当該交付要領が改正されたことに伴う一部改正	○
議案第46号	苓北町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	苓北町消防団員の任用要件の改正	○

【結果の表示について】 ○全会一致で可決 ×賛成少数で否決（賛否表はP5のとおり）

■令和5年度 補正予算について

（単位：千円）

議案番号	事件名	補正前の額	補正額	補正後の額	備考	結果
議案第47号	令和5年度一般会計補正予算（第3号）	4,981,862	93,146	5,075,008	価格高騰重点支援給付金等の増 ※住民税非課税世帯に3万円を給付。1,250世帯分。	○

【結果の表示について】 ○賛成多数で可決（賛否表はP5のとおり）

倉田議員
 「地域イノベーション連携業務」委託料メタバース創出事業は、高齢者課

廣田議員
 坂瀬川漁港小路地区向路防波堤の測量設計委託料400万円を始めとして、今、必要な補正予算。併せてメタバースなどデジタル技術を用いた地方活性化に期待する。

松本議員
 予算内のメタバース事業は、高齢者がVRゴーグル（眼鏡）をかけ仮想空間で過ごす。町がこれまで実施してきた諸事業に歯止めをかけ、身体弱者を生み出す最も悪い事業である。高齢者には操作も難しいが、この事業により引きこもりの高齢者が増加し、ますます外出しなくなり、足腰の弱体化、筋肉の減少により、多数の寝たきり老人、介護老人を増加させる事が懸念される。

原案に賛成討論
 本予算案には重要案件もあるが、再提出を求め、本案に反対する。

原案に反対討論
 議案第47号 令和5年度苓北町一般会計補正予算(第3号)に反対討論

全員協議会

令和5年4月28日(金)開催

◎デジタル田園都市国家構想交付金交付内示・交付決定について

1	事業名	メタバース連動型Eiジテックサービス創出事業
	概要	地域課題の抽出・整理を行い、町が指定する解決のノウハウを持ったイノベーションマネージャーが、民間事業者や大学機関など募集。選定しEiジテックサービス等の実証実験に向けた調査・研究と、問題解決の有効性について仮説検証を行い、事業化を目指す。
	交付内示額	4,000千円 (計画提出総事業費 6,000千円)
2	事業名	統合型GISの構築と公開による町民サービス事業
	概要	航空写真・地形図・道路台帳等登録し、行政情報などを連携させた統合型GIS(地理情報システム)の構築。町内外へ配信し町民等への情報提供、利便性向上やオープン化を目指す。
	交付決定額	57,150千円 (計画提出総事業費 114,300千円)
3	事業名	苓北町校務デジタル化推進事業
	概要	児童生徒の学校生活や成績の情報を一元管理するシステムを導入し、児童生徒情報を学校全体で共有・活用しやすい環境を整備する。
	交付決定額	10,431千円 (計画提出総事業費 20,862千円)
4	事業名	マイナンバーカードを活用した申請窓口のスマート化による住民サービスの向上
	概要	申請書類の作成支援(書かせない窓口)や行政手続き証明書の発行におけるオンライン申請(来させない窓口)など申請窓口をスマート化し出向くことのできない町民等へのサービス向上を図る。
	交付決定額	12,556千円 (計画提出総事業費 25,113千円)

◎苓北町議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定について

目的=請負の状況の透明性を確保し、もって議会の運営の構成及び事務の執行の適正を図ること。
報告=当該議員が苓北町に対する請負について、議長に対し報告し、公表しなければならない。(請負内容・金額など)

令和5年6月8日(木)開催

(1) 苓北・天草風力発電事業の進捗状況について

風力発電所建設及び発電事業に関する協定書が令和5年5月31日、熊本県庁において、苓北風力合同会社、苓北町及び、熊本県の3者にて協定書を締結したとの報告があった。

(2) 運動・スポーツ習慣化促進事業について

今議会に提出されている運動・スポーツ習慣化促進事業について、担当課より詳細に渡る説明が行われた。本事業は、主に40歳から65歳の働く世代に対する地域における運動・スポーツの実施・習慣化に係る取り組みとなっている。

(3) 国会議員への要望活動について

要望先 金子衆議院議員(意見交換会)、松村参議院議員、馬場参議院議員、藤木参議院議員(以上の予定)
期日 令和5年8月1日(火)
案件 国土強靱化施策、半島振興施策、食料・農業・農村政策

(4) メタバース連動型Eiジテックサービス創出事業の概要とメタバース体験

事業の目的である高齢者課題に有用なメタバース技術の検証と事業企画策定の運営会社から説明を受けると同時に仮想空間の体験が第一第二委員会室にて行われた。

議員全体会

令和5年6月8日(木)開催

(1) 議会特別委員会設置について

今期の一般質問の中で、議会議員で協議いただきたいという答弁(議場レイアウトの見直し及び、防災・行政システム「苓北よかナビ」への議会目安箱的箇所の設置)が山崎町長からあり、野崎議長から、このことを含み、議会議員へのタブレット端末の配布(デジタル議案書等)、模擬議会の開催等も併せて、調査、研究を行う、議長を除く、9人の議員で構成する「議会活性化等検討特別委員会(仮称)」の設置を、9日の本会議最終日において議長発議する旨の申し合わせがなされた。

一般質問 (6議員答覆)

問① 防災・行政システム「苓北よかナビ」の活用提案について
② 富岡城の有効活用への提案について
③ ふるさと納税について(進捗状況、返礼品開発)



田嶋健司 議員

問① 町議会宛にいろいろな事が提案できる日安箱的場所を「苓北よかナビ」の中に設置することは可能か。

町長 設置は、技術的に可能。

再質 設置するかどうかを含めて、議員間での検討を。

問② 「苓北よかナビ」の使用の安全性の確認と、利用・普及の推進を継続することが必要である。

町長 ふるさと納税に、富岡城の一口城主のような取り組みができないか。また、ビクターセンター内の海中映像を上映しているスクリーンを利用して、西の海のサンセットの映像を交互に上映可能か。

一口城主の特典として、富岡城の各施設の無料利用と飲食・物産・宿泊に利用できるクーポンを返礼品の一つとして登録できないかということとを、商工観光課と総務課とで検討している。またビクターセンターの映像上映については、熊本県自然保護課に確認したところ、特殊な撮影により制作・投影する3面シアターの利用は難しいとのこと。別のモニ

問③ ふるさと納税に力を入れるという事だったが、進捗状況について尋ねる。また、他市町村との差別化を図る為、苓北町の特色を活かした返礼品開発や発掘を進めるべく、町主体で町内事業者への積極的な返礼品開発を促せないか。

町長 このことにつき、令和4年度の検証を行った。多くが小規模事業者のため、出荷量に限界があり数量確保できないこと、人気ジャンルである肉類や高額返礼品が不足していること、広告宣伝不足などが挙げられた。また、熊本県内で寄附額が大きく伸びている阿蘇郡高森町を研修し、目玉商品が必要であることを実感した。これらのことを踏まえて、馬刺しや牛肉などの肉類取扱事業者との新たな連携、熊本県産米の取扱品への取り込み、町内事業者からの新たな返礼品目の追加などの取り組みを行っている。今後も、返礼品の開発を含め、寄附額を伸ばせるように努力して参

る。

一 安心して住めるまちづくり

(一) 防災の現況と取り組み

浜口 漁港防波堤破損が問題提起された。防波堤の補修は産業振興に止まらず国土強靱化の為の防災対策として地域住民の安寧に必要な公共投資。

町長 速やかに測量設計を行い早急な改修を考えている。

(二) 洪水等ハザードマップ

浜口 ハザードマップの修正の主眼は、見やすい表示となる様配慮した。

(三) 水道、下水道の現況と課題

浜口 人口減少等による事業財政への影響や、施設の老朽化による保守管理の在り方などの様な考えをお持ちか。

町長 令和6年4月1日より公営企業会計の導入を。適切なメンテナンスによる長寿命化を図りながら適正な更新を計画的に実施してまいります。

二 活き活きと暮らせるまちづくり

(一) 統合型GISの取り組み

浜口 この事業に委託料1億1,430万円、うち持ち出し分5,715万円の巨額の税金投入は、町の大きな課題である。人口減少対策、少子化対策、高齢化対策、生活環境の保全対策、教育対策や産業振興等へ取り組むべき。

町長 現在、町で使っている地形図、空中写真も平成24年に撮影した古い紙製でデジタルデータではない。

(二) ランドセルが重い

浜口 新入学児童の登下校時のランドセルは児童の体重に比して重すぎる。に置いて帰る「置き勉」の指導を行っ

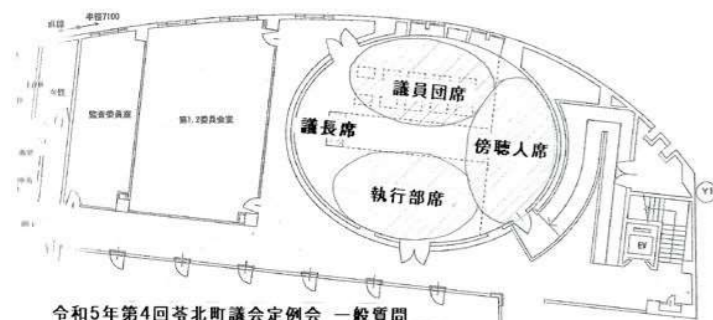


浜口雅英 議員

ている。

(三) 庁舎議場レイアウトの見直し
浜口 議員定数は町の人口減少等々により現在の第18期議員の定数は10人だが議場は16人分の議席のまま。床面をバリアフリーにして町民が一体となって町づくりを図るべき。

町長 議会の皆様の中で全体の総意としてとりまといいただき、それを踏まえて、検討させていただければと考える。



令和5年第4回苓北町議会定例会 一般質問
質問事項 二 活き活きと暮らせるまちづくり
質問要旨(三)庁舎議場レイアウトの見直し 説明資料

- ① 小路川に架る沖の田橋・小路橋の改修を
- ② 山間地域の活性化について
- ③ 町職員の研修のあり方について



高戸 幸雄 議員

問① 平成27年6月11日豪雨により、小路川が氾濫し多大な被害が発生した。流木が一起因とし、上流部に「流木捕捉工」がその対応策として施工されている。河口部の町道2路線に架かる沖の田橋及び小路橋は、いずれも、2連形式のボックスカルバートで施工されており、流木対策上は適切とは言えないのではないかと。地元住民の方の意見を取り入れた解決策を見出す必要がある。また国道の橋梁も同様である。広域本部と早急なる協議が必要であると考えるが。

町長 森林資源の状況は、木材価格の低迷等により厳しい状況である。森林は水源涵養等多くの多面的機能を有している。地元産木材利用は、荅中改築等を含め公共施設での設計を進めていく。

「メンマッププロジェクト」は山間地域の活性化を目指し、福岡の運営会社が、企業と荅北町の竹林所有者を含む地域グループを繋げる取り組みとして協議が進んでいる。

今後、範囲拡大と竹林整備にかかる経費等に対する補助金活用を検討を行う考えである。

町長 流木対策とし上流に捕捉施設を整備した。堆積土砂浚渫等をして流下能力の確保を行っている。現行の河川整備基準見直しや地域の方々の意見聴取を行いながら改修を進めていく。国道部の橋梁は、今後、熊本県と協議を進めていく。

問② 国策として、植林され60年を経過した天草産櫨の活用策が放送された。林業の現状は、他の産業以上に厳しい状況下である。公共施設等に地元産の材木を利用した支援を望む。放置竹林対策として、「メンマッププロジェクト」の協議が進んでいるようだが、現状は。

町長 最近、資格要件を要した採用がみられるが将来の処遇は。現在隣接自治体との研修状況と、喫緊の課題に対する研修の取り組みは。

町長 資格を有した職員は、組織全体の業務も考慮し異動を行う。隣接自治体との研修はほとんど行われていない。県での研修等に参加している。水道・下水道の企業会計移行に向けて研修に参加している。組織の目標達成には、人材の育成は不可欠である。職員として、身につけなければならない行政知識やスキルの上を目指し人材育成をさらに図っていく。

- ① 天草広域連合中央消防署新荅北分署建設
- ② 荅北町消防団等の現状と課題
- ③ 天草広域連合新ごみ処理施設事業計画



倉田 明 議員

問① 中央消防署新荅北分署の完成及び現分署解体の見通しは。

また、解体後は駐車場や訓練スペースと伺っているが、整地・舗装等の費用は天草広域連合か。

町長 完成は5年11月、解体は本年12月で建設、解体、跡地までで舗装はしない。費用は天草広域連合負担。

問② 現在、荅北町消防団員の定数は330人で現在244人。(機能別団員25人含む) 団員不足で16班のうち6人の班が2班ある。団員の確保と班編成は。

また、住宅用火災警報器は平成23年6月から全世帯に設置義務化された。電池の寿命は約10年で交換期にきている。広報紙等で情報提供と町内の設置状況の調査の考えはないか。

町長 令和4年度から「機能別団員」制度を新設。町外居住者でも町内に勤務者を任用する「荅北町消防団員等の条例一部改正」を今議会に上程した。今後、班員確保と班編成の検討をしたい。

火災警報器の10年以上経過したもの、故障や電池切れの可能性など、広報はいくく周知しているが、引き続き周知を図る。全世帯調査については天草広域連合と協議したい。

再質 天草広域連合中央消防荅北分署は10人で3人2組体制。有事の場合、消防車、救急車に3人で出勤するが、現場での指揮監督、機械操作、消火などで現状把握等が思うようにできないと聞く。住民の生命・財産を守る観点から消防職員の増員を要望する。天草広域連合も消防職員が条例定数に達していない。

問③ 天草広域連合新ごみ処理施設整備事業計画の施工監理業務委託料が、令和5年2月22日の委員会での削除、修正可決された。令和9年7月稼働の予定だが、今後の見通しは。

町長 5月16日に第11回事業者選定委員会で落札候補者が決定。5月30日に連合長に答申された(落札価格335億円)。

これを受け、6月1日天草広域連合議会議員勉強会が開催された。今後、7月臨時会で施工監理業務委託予算の再上程、8月の天草広域連合定例議会で本契約の議決の予定。

再質 総合評価一般競争入札に2社参加したが、1社は辞退。1社の入札となったが、制度上の問題は。

町長 総合評価一般競争入札であり、問題は無い。

問① 安全対策にかかる道路上の標示について

道路上での安全対策への関心が町民の間で非常に高くなっている、こうした時期をとらえて道路上の標示について、総点検、整備が必要ではないか。(国道、町道にかかわらず)

町長 総点検を行い、町民が安心して道路を横断できるよう努めて参る。

問② 水道・下水道等特別会計の公営企業会計への移行について

町において、水道、下水道等会計が特別会計から公営企業会計に移行する準備が進んでいる。この移行は、総務省の要請によると聞き及んでいるが、そこで

○公営企業会計に移行する意義。

○独立採算制となる公営企業会計、町民生活に直結する水道、下水道等の使用料金改定について、どのように考えておられるのか。

○右記を含め、公営企業会計移行により、何がどのように変化し、町民生活にどのような影響を及ぼすことになるのか。

町長 公営企業会計は、独立採算制を原則としている。まずは、当該会計において、収支のバランスを考慮しながら、料金の決定を行う必要がある。町全体での財政状況も考慮しながら、継続した町民サービスができるよう努めて参る。

問③ 過去に一般質問した事案と今期の自らの選挙公約とした事案について

① 町管理漁港となる坂瀬川漁港小路地区の西防波堤、コンクリート方塊の

問① 白木尾台地法面崩壊防止対策について

令和三年十二月定例会並びに再議に付された臨時会において、本事業の関係予算が計上されたが、議会の理解が得られず本事業の見直しが決定した。

その後、町としては本事業に対し、どのように対応されたのか、また今後の考え方について伺う。

町長 令和四年七月と令和五年三月の二度にわたり、県営事業により行ってもらえるように要望書を提出、本年五月二十六日天草広域連合本部長と面会し、現在の検討状況を訊いたが、県営事業としての事業実施は、現状では難しいとの回答であったが、引き続き熊本県と協議を継続し実施出来るよう努力していきたい。

問② 水産振興について

地球環境の変化で、我が町の近海でも大変な磯焼けが進んでいる。漁家ははじめ関係者の方々が苦しんでおられる。今年はウニ漁が激減したと聞いている。これは観光事業に大きく影響するのではと心配である。

町も色んな形で努力され対策を立てておられると思うが、漁家の満足いく結果は出ていないようである。今まで磯焼けに対し、色々な事業を行ってきたが、その成果はどうだったのか、検証の結果、今後どのような対策をうたれるのか、伺う。

町長 昭和五十年代から築いその投入や魚礁の設置など行っており、近年で藻場の増殖場を設置するなど、国の補助を活用しながら事業を展開してきた。平成

解離について、どのような検討がなされ、どのような現状になっているのか。

町長 6月議会補正予算に測量設計費を計上させていただいた。予算が成立したらすみやかに測量設計、早急な改修に繋げていく。

問② 町独自の奨学金返済支援制度等の検討を進めて参る、との答弁をいただいた。どのような検討がなされ、どのような現状となっているのか。

町長 町以外の他の奨学金制度を利用しながら荅北町奨学金貸付条例で返還免除の要件に定める者に該当する場合、同様の支援ができないか、他自治体の事例を参考に調査研究をおこなっている。

問③ 町内に児童公園の開設を、このことで私の今期の選挙公約としている。子育て支援も兼ねて、上津深江広域避難地を防災公園として整備するための基本計画を策定することに予算措置がなされた。

ぜひ、町民の意見を聴取され、基本計画に反映させてほしいと願う。

また、インクルーシブな視点での遊具の設置、公園開設を望んでいる。

町長 ユニバーサルデザインを念頭に、子育て世代を始めとした町民の憩いの場として、さらには防災機能を有した公園の整備にむけ、ワーキング会議を開催することとしている。



田崎 稔 議員

二十二年からは、県の補助事業を活用し、海藻類の繁茂状態の調査を実施しており、一定の効果を確認している。

今後は種糸(たねいと)の投入や母藻の移植などの対策に取り組み、範囲の拡大も視野にいれ、継続的に実施していきたい。

再質 良い結果が出ているようなので、今後も、国、県の事業を活用しながらの継続実施を望む。

問③ 米対策と農林水産物の適正価格の実施にむけて

問 日本人の主食である米の価格が長期にわたり、再生産価格を下回っている。早急に対策を考えないと手遅れになってしまう。政策の転換を国に働きかけてもらいたい。

農林水産物の適正価格の実現にむけても、絵に描いたモチにならないように常に働きかける必要があると考える。

町長 今後については、引き続き関係国会議員への要望活動をはじめとし、機会をとらえながら要望や働きかけ等を行っていく。

再質 その要望書の中に「農林水産物の適正価格の早期実現」をぜひ、加えてほしい。

堆肥センターについて

問① 毎年、多額な財源が投入され、年間約二千万円程度は、赤字になっている。

今後、更に多額な赤字が、見込まれると思う。

原材料の確保、販売量の拡充、及び経費節減なども一度、見直す必要があるのではないかとと思う。

町長 開設当初から経営収支が厳しい状況であったが、低コスト組合等への働きかけ、町外での販売店舗拡大などの販売促進、令和2年度から牛糞の回収料・処理料を無料化したことによる原材料の確保対策など、経営の安定を図り、安価で良質な堆肥を安定して広く提供することにより、農業振興の観点も含め運営を行ってきた。今年度より、機器類の大規模更新計画の策定に着手し補助金の採択に向け国・県と協議している。

今後、経営の安定も図られた中で、資源循環型農業の実現に向け頑張っていく。

公営企業会計移行について

問② 令和6年度から上・下水道など、公営企業会計に移行した場合、

①どのようなメリットが考えられるのか。

②住民へのサービス向上が考えられるのか。

③一般会計からの繰り入れは可能であるようだが、今後どのように推移されていくのか。

④水道・下水道料金の決定は、各自治



錦戸俊春 議員

体で、自由に決定されるのかどうか。
⑤特定地域生活排水処理事業（合併浄化槽設置）の管理費は、下水道使用料の料金と同等で、使用料にのじた料金に出来ないか。

⑥農業集落排水事業を、特定地域生活排水処理事業（合併浄化槽設置）への移行、或いは、下水道施設への接続は考えられないか。
（今後、老朽化に伴う将来多額な投資が予測されると思う。）

町長 ①独立採算性が原則だが、経営を維持することは非常に困難である。国からの財政支援の要望の強化、町全体での財政状況も考慮し、継続した住民サービスができるよう努める。

②住民負担が軽減できるような業務の効率化等に取り組む。

③今後もできる限り、一般会計繰入を抑制できるように、効率的な運営に努める。

④国からの財政支援の要望や町全体の財政状況も考慮し、継続した住民サービスができるよう努める。

⑤子メータ設置・検針料が新たに発生する。諸条件や世帯人員数と人槽の適応性を勘案し、料金算出方法の比較検討などを行う。

⑥引き続き現在の施設を利用していくことが経営的に有利だと考える。

問① 脱炭素社会への取り組みについて
問② 白木尾台地法面崩壊防止対策事業について



山口利生 議員

問① 政府は、2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すため、2030年の温室効果ガス削減目標を2013年比50%削減させるとし、環境省は、2030年度までの脱炭素社会に取り組む「先行地域」を2025年度までに100地域以上に増やす方針とのこと。

町長 苓北町も、脱炭素社会対策交付金を活用し、①老朽化している温泉センターと温泉プールのボイラーを、化石燃料の灯油から再エネ電気等を活用した給湯システムへの転換、②堆肥センターへの太陽光発電施設や蓄電設備の導入、③公共施設や民間病院等への太陽光発電施設や蓄電施設を導入し、将来的には町全体で再エネ電気の地産地消を行うなどの計画を策定し、脱炭素社会先行地域への指定に積極的に取り組むべきと思うが町長の考えを問う。

町長 町では、地球温暖化防止対策実行計画を策定し、CO2削減に取り組んでいる。環境省が実施する「脱炭素地域づくり事業」の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を受けるためには、提案書を作成し脱炭素先行地域に選定される要件がある。そのため、苓北町全体でどのような取り

組みをしていくのかといった計画策定について、早期に取りかかって参る。

町長 白木尾台地法面崩壊防止対策事業は、令和3年12月苓北町議会に工事請負費4,830万円の補正予算が提案されたが、議会の予算審議の中で工法等の見直しを求められ当該補正予算が否決されたことから、執行部は事業を一時中断し、地権者からの工事承諾書等を返却し現在に至っている。白木尾台地は、大自然が数万年をかけて作り上げた全国的にまれな陸繋島の台地であり、志岐平野を守る防波堤の役割を持ち、苓北町が後世に残すべき貴重な自然遺産である。近年の異常気象による大雨や大型台風等により、大規模な法面崩壊が発生し大量の土砂により防波堤を破壊する恐れもあり、早急な復旧対策が必要である。今後の白木尾台地法面崩壊対策工事の進め方について町長の考えを問う。

町長 工法や湧水対策、施工後の空きスペースの有効活用も含め、十分に検討を行い、関係土地所有者や地域の方々のご理解が得られる形の中で、白木尾台地法面崩壊防止対策が実現に向けて進められるよう、引き続き努めて参る。

問① これからの苓北町におけるCO2対策について尋ねた。

全世界一丸となって、地球温暖化対策に向けて取り組みが行われている。このような中、苓北町として行政計画による対策はもとより、町民の方々に、広く協力を呼びかけその対策を講じる必要があるものと思われるが？

町長 苓北町地球温暖化防止対策実行計画を策定している。町が率先して対策に取り組むことで、町全体の環境保全の足がかりとなる。

再質 対策に取り組んでいると言うことであるが、これまでに取り組んできた実態が解らない。

再質 熊日一面に熊本市の「バス、電車無料の日」が報道され、この成果がマイカー利用減によるCO2排出量43t削減、経済波及効果1億1400万円推測等とあった。この事については？

担当課長 町と市は違う。
コラム 熊本市の成果を参考にして見直しも必要と思われる。苓北町巡回バスは利便性が悪いため悪評である。町民サービスを絶やすことなくCO2対策に取り組んで頂きたい。

問② 先の議会で国道389号年柄ノ竹の追間崩壊による危険防止対策について早急なる陳情をお願いしたところ、町長自ら県に出向かれ陳情されたと聞いている。陳情内容と、国県の対応等の状況、見通しを聞きたい。

町長 異常気象の際も、安全に通行出来るよう6年間の工事結果検証と一

長崎苓北会総会

長崎苓北会（諸谷篤生会長）の総会・懇親会が、4月29日（土）長崎市「ホテルニュータンダ」にて開催されました。苓北町から山崎町長、野崎議長外10人が参加しました。

コロナ禍の影響を受け4年ぶりの開催となりました。町の近況報告を行うとともに、懇親を深めてまいりました。なお、新しい会長に平井等さん（志岐出身）が就任されました。



長崎苓北会の役員の方々の皆さん(左から1人目が平井等新会長、2人目が諸谷篤生前会長)



松本良人 議員

刻も早い事前通行規制解除に向けた取り組みの陳情を行った。

見直しについては、検討段階。

問③ 下水道会計は3つの会計により運営されている。下水道使用料の格差是正についてはこれまでも再三要求してきたが抜本的な見直しはなされていない。同じ町管理下水道でありながら、使用料に格差がある。町民は常に平等でなければならぬはずである。

町長 町の水道水以外を利用して世帯へメーター機の設置や検針委託料が発生する。諸条件を勘案しながら、料金算出について比較検討を行っている。

問④ インボイス制度については町民の皆様については解りかねるところがあると思われる。

このインボイス制度はどういうものであるのか、また、町内諸事業者に与える影響は、悪影響があるとしたら、その救済措置等は？

お詫 答弁で制度の説明はあったが、紙面の都合により回答は省略します。

悪影響は有ると思われるが、救済措置等についてはない。



ふるさと苓北の思い出話に花が咲く懇親会

関東ふるさと苓北会総会が11月に予定されています

関東圏在住の苓北町出身の皆さんが一堂に会する「関東ふるさと苓北会総会」が左記期日で開催される予定となっています。

町議会からも議長を含む4人の議員が出席し、交流を深めてくる予定です。

期日 11月26日(日)

※例年6月に開催されている「関西ふるさと苓北会総会」の今年開催は見送られています。



議 会 日 誌

※主なものを載せています



(4月21日以降分)

6月

4月

- 28日 全員協議会
- 29日 長崎茶北会総会 長崎市常盤町

5月

- 9日 令和5年第3回議会臨時会
- 16日 建設経済環境常任委員会
- 23日・24日 正副議長研修会・県関係国会議員への要望活動 東京
- 26日 議会運営委員会

- 7～9日 令和5年第4回議会定例会
- 7日 総務文教厚生常任委員会
- 8日 全員協議会・議員全体会
- 12日 建設経済環境常任委員会
- 9日・22日 議会広報特別委員会
- 28日 建設経済環境常任委員会

7月

- 4日 令和5年第5回議会臨時会
- 議会広報特別委員会
- 12日 建設経済環境常任委員会
- 18日・19日 総務文教厚生常任委員会

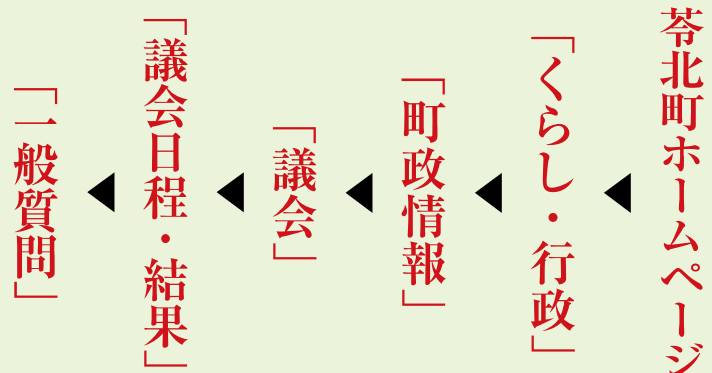
※令和5年第5回議会臨時会の内容は、10月20日発行の茶北町議会だより「さずな」に掲載します。

次の定例会は **9月**です。

- 5月臨時会の傍聴者は、**10人**でした。
- 6月定例会の傍聴者は、**57人**でした。

会議録は、右記「議会日程・結果」内の「会議録・議事録」で閲覧できます。

“定例議会の一般質問がインターネットで聞けます”



茶北町ホームページ

上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音放送にて聞けます。(茶北町ホームページがリニューアルされました。)

編集後記

令和5年5月8日、新型コロナウイルス感染症が感染法上、5類感染症に位置付けられました。それに伴い、感染症対策は個人の判断が基本となり、マスク着用の考え方も見直され、ノーマスクで過ごす「日常生活」が戻りつつあります。長期間自粛していた帰省や、旅行する人が増加することが予測され、個人消費や経済活動の活性化が期待されています。

さて、山崎新町長による町政がスタート、「地域づくり実践塾」の開塾、デジタル推進事業等を活用した様々な取り組みが計画されています。

第18期茶北町議会において、6月定例会で議会活性化等検討特別委員会設置を決議しました。

町民の皆さんの声が届きやすい、風通しの良い議会を目指し、新しいことにチャレンジしていきます。

議会広報特別委員会